

県下の交通事故

(平成9年6月20日現在)

年別	区分	発生件数	死者	傷害
平成8年		2,406件	41人	3,141人
平成9年		2,732件	48人	3,621人
比較		+326件	+7人	+480人



◇ 第118号 ◇
 発行所
 〒400 甲府市丸の内一丁目9-11
 県民会館2階
 財団法人 山梨県交通安全協会
 TEL 甲府 (0552) 32-4682
 (0552) 37-7827



中央自動車道の事故で横転した車

運動の重点

- 一、高齢者と子供の交通事故防止
- 二、若者の無謀運転及び暴走族の追放
- 三、シートベルトの着用の徹底

夏の交通安全運動

7月20日(日)から
8月20日(水)まで

夏の交通事故防止県民運動は、行楽シーズンと児童、生徒等の夏休みが重なり、交通事故の多発や若者による暴走行為の増加が心配されていることから、山梨県独自の運動として、県民一人ひとりに交通安全知識を普及して交通安全思想を高め、交通ルールとマナーを守るとを習慣づけて交通事故防止を図ろうとするものです。

県内の交通事故は年々厳しさを増しており、特に今年六月二十日現在の死亡事故が四十八人(前年比七人増)と多く発生しています。特に七、八月は事故が多発するシーズンです。待ちに待った楽しい夏休みを悲しい思い出にしまわぬように、県民一人ひとりが「交通安全は自分が主役」となっており組みましよう。

運動の重点(別掲)の要旨は次のとおりです。**●高齢者と子供の交通事故防止**
 死亡事故では、高齢者



近代社会の目覚ましい発達に伴い、自動車は、もはや日常生活の中ではなくてはならない交通手段となつています。しかしその陰には、戦後の全国の交通事故死者が五十万人を超えるという悲惨な状況も招いているという事実を忘れてはなりません。このような情勢の中で県内の交通事故は、六月二十日現在、発生二千七百三十二件、死者四十八

が約三分の一で、特に歩行中と四輪車運転中の死者が目立ちます。また子供は夏休みの解放感から行動も活発になり、事故にあう危険も増えてきます。

志村会長が監事就任

(財)全日本交通安全協会総会



六月三日、東京会館で、(財)全日本交通安全協会

会の定期総会が開かれ、平成八年度の事業と決算報告、平成九年度の事業計画と予算(案)が審議され、議決しました。続いて役員改選が行われましたが、全日交会長

が極めて低いこと。高齢者が犠牲になった死亡事故が多いこと。飲酒運転による死亡事故が多いこと。この三点があげられます。

心くばりは自分のため

県警交通部長 望月虎雄



六月二十日現在の死者は四十八人となり、前年同期に比べ七人と増加している厳しい状況であります。交通安全の犠牲者を一人でも減らすため、「シートベルト着用県民運動」を展開し、毎月十四日を「シートベルト着用推進の日」と定め指導を強め

音暴走の運転は大変迷惑です。県民みんなで追放しましょう。

●シートベルトの着用の徹底

今年の死亡事故での着用率はわずか二〇%で、四輪車で着用していなかった人の約半分は、シートベルトで助かったという状況の中で命を落としています。必ず着用しましょう。

(平岩外四東京電力(株)会長)と副会長はすべて再選され、監事三名のうち一名が退任し、本県安協会長志村哲良氏が新たに監事に選任されました。このことは、県安協としての誇りであり、今後の安協活動をさらに前進させるパワーになるものでもあります。

しているほか、高齢者の事故防止対策として、今年から「高齢運転者体験型交通安全講習」制度を発足させるなど、さまざま工夫を試みています。しかし、交通事故を減少させるのに最も重要なことは、県民一人ひとりの交通安全に対する心の持ち方です。正しい交通ルールとマナーが自然に習慣づけられ、他人に対する「心くばり」が結局は自分の命をも大切にすることに繋がります。シートベルト着用を忘れず、ぜひ思いをお願いします。

交差点

春秋実施している全国一斉交通安全運動は、大正九年十二月から始まり、昭和三十七年から現在の安全運動となりましたが、これがマンネリ化しているとの批判を聞きます。

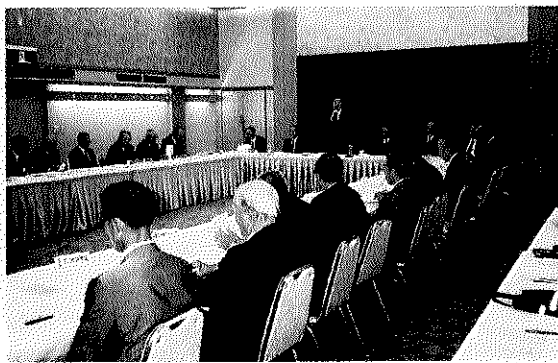
▼昭和三十六年、全国の交通事故の死者数が一万二千八百六十五人になり、日清戦争当時の戦死者数と対比して、「今の日本は日清戦争を上回る戦争状態」と新聞が報道し、以後交通安全という言葉が使われて、います。

▼同年ころ全国の運転免許取得者は約千九百九万人、車両所有台数が約四百三十万台でした。現在の免許人口が七千万人を突破して当時より約六倍、車両台数は約八千六百五十万台で約二十倍に激増し、さらに飛躍的に道路も拡充されたのに、昨年は交通事故死者数を約三千人減の九千九百四十二人に抑えこんでいます。

▼交通安全に従事する行政機関の警察庁、総務庁、県、市町村並びに交通安全協会などの団体が中心になり、国民、地域をあげて交通ルールやマナーを守るようたゆまぬ交通安全活動を続けています。

安協活動の一層強力な推進を 平成8年度の事業・決算を承認

～県安協理事・評議員会議開く～



理事・評議員会議であいさつをする志村会長

県交通安全協会は、五月二十二日甲府市のホテル談露館で理事・評議員合同会議を開き、平成8年度の事業報告及び収支決算報告を承認しました。今年は、常勤役員酒井澄男専務理事が退任し、新たに奈良田幸夫専務理事が指名され就任しました。

理事・評議員合同会議では、志村哲良会長が「永い間、酒井前専務理事には多大な成果をあげて頂き、深甚なる敬意と謝意を表したい。交通安全の益々活性化につとめ、事故死者数を二桁に抑えるべく全力を尽くしたい」と旨述べて奮起をうながしました。

久保田氏ら十人と日下部安協

関東管区表彰に輝く

関東管区交通安全協会連合会(三鬼彰会長)の平成九年度交通安全功労者表彰式が、五月二十三日東京虎の門パストラルで開催され、交通功労者、優良交通安全協会、優良職員の表彰が行われました。

交通功労者は、久保田宝(日下部安協会長)以下十氏で、ご夫人にも内職届が提出されました。

二輪車の事故防止を 県安協で各種会議開く

県安協で各種会議開く

県交通安全協会は、県警察や県教育委員会等の協力を得ながら、オートバイや自転車など二輪車による事故防止を図るため各種の会議を開催しました。



県二輪車安全運転推進委員会

四月三十日「ニュー機山」で、県安協と県二輪車安全運転推進委員会(二推委)が、県警及び県教委等のご協力のもと開催しました。

五月十三日「ニュー機山」で、県安協と前記「二推委」等が、県警及び県教委等のご協力のもと開催しました。

五月十三日「ニュー機山」で、県安協と前記「二推委」等が、県警及び県教委等のご協力のもと開催しました。

五月十三日「ニュー機山」で、県安協と前記「二推委」等が、県警及び県教委等のご協力のもと開催しました。



表彰式の会場で記念撮影(東京・虎の門 パストラル)

事故は増加 春の交通安全運動

春の全国交通安全運動は、四月六日から十五日までの十日間、運動の重点を「高齢者と子供の交通事故防止」と「シートベルトの着用徹底」の二点として、県民総ぐるみで取り組まれました。

藤本実(適正化センター)、中野栄子(安全運転学校都留分校) 発生 九四件 (八件増) 死者 三人(二人増) 傷者 一三二人 (二八人増) 発生 九件(一件増) 死者 なし(増減) 傷者 七人(四人増) 発生 七件(増減) 死者 なし(増減) 傷者 一四人 (七人増) シートベルト着用率 事故当事者のシートベルト着用率は、七九・八%で昨年同調査時の八六・一%より六・三ポイントダウンし反省点なので、今後なお必要性を訴えていきます。

無事故・無違反を誓う チャレンジ2000

チャレンジ2000

県交通対策推進協議会主催、県警察、県安協等交通関係機関、団体協賛の「平成九年度セーフティドライブ・チャレンジ2000」が、六月十五日から始まりました。

最後に、参加者を代表して折田智彦さんが力強く宣誓し、全員が無事故等を誓いました。

平成八年度事業報告

- 一 交通安全運動の実施
 - (一)春・秋の全国交通安全運動で、黄色い羽根・ポスター、ビラ等配布
 - (二)夏・年末年始交通事故防止県民運動に賛助
 - (三)交通安全功労者等表彰
 - (四)関東管区安協連表彰
 - (五)24東京虎ノ門パストラルで功労者十人、優良安協などが受賞
 - (六)優良指導員表彰
 - (七)11・8運転免許センターで指導員二人、準指導員五人を表彰
 - (八)県安協等表彰式
 - (九)17県民会館で管区表彰伝達、二団体十人、〇緑十字銅章伝達、九十九人、〇県安協等表彰、二十団体、二百七十四人を表彰
 - (十)第37回交通安全国民運動中央大会での表彰
 - (十一)9・1・22日比谷公会堂で
- 二 交通安全功労者等表彰
 - (一)緑十字賞二人、銀賞五人、優良団体では五団体を受賞
 - (二)全日交優良指導員表彰
 - (三)9・3・4虎ノ門パストラルで、特指・指導員各一人が受賞
 - (四)二輪車・自転車交通安全対策の推進
 - (一)春・秋の全国交通安全運動で街頭指導を実施
 - (二)4・30県二推委、幹事合
 - (五)30県二推委、幹事合
- 三 二輪車・自転車交通安全対策の推進
 - (一)春・秋の全国交通安全運動で街頭指導を実施
 - (二)4・30県二推委、幹事合
- 四 交通安全啓発宣伝活動
 - (一)6・15・12・31の四実施の交通安全チャレンジ
 - (二)交通安全チャレンジ
 - (三)交通安全チャレンジ
 - (四)交通安全チャレンジ
 - (五)交通安全チャレンジ
 - (六)交通安全チャレンジ
 - (七)交通安全チャレンジ
 - (八)交通安全チャレンジ
 - (九)交通安全チャレンジ
 - (十)交通安全チャレンジ
 - (十一)交通安全チャレンジ
 - (十二)交通安全チャレンジ
 - (十三)交通安全チャレンジ
 - (十四)交通安全チャレンジ
 - (十五)交通安全チャレンジ
 - (十六)交通安全チャレンジ
 - (十七)交通安全チャレンジ
 - (十八)交通安全チャレンジ
 - (十九)交通安全チャレンジ
 - (二十)交通安全チャレンジ
 - (二十一)交通安全チャレンジ
 - (二十二)交通安全チャレンジ
 - (二十三)交通安全チャレンジ
 - (二十四)交通安全チャレンジ
 - (二十五)交通安全チャレンジ
 - (二十六)交通安全チャレンジ
 - (二十七)交通安全チャレンジ
 - (二十八)交通安全チャレンジ
 - (二十九)交通安全チャレンジ
 - (三十)交通安全チャレンジ
 - (三十一)交通安全チャレンジ
 - (三十二)交通安全チャレンジ
 - (三十三)交通安全チャレンジ
 - (三十四)交通安全チャレンジ
 - (三十五)交通安全チャレンジ
 - (三十六)交通安全チャレンジ
 - (三十七)交通安全チャレンジ
 - (三十八)交通安全チャレンジ
 - (三十九)交通安全チャレンジ
 - (四十)交通安全チャレンジ
 - (四十一)交通安全チャレンジ
 - (四十二)交通安全チャレンジ
 - (四十三)交通安全チャレンジ
 - (四十四)交通安全チャレンジ
 - (四十五)交通安全チャレンジ
 - (四十六)交通安全チャレンジ
 - (四十七)交通安全チャレンジ
 - (四十八)交通安全チャレンジ
 - (四十九)交通安全チャレンジ
 - (五十)交通安全チャレンジ
- 五 各種会議・研修等
 - (一)全日交等中央関係
 - (二)全日交・管区安協連総会、全国専務事務局長会議、管技協支所長会議、一都十県会議等十二回
 - (三)県安協関係
 - (四)理事・評議員合同会議、研修会、プロック研修会、教習所会議、安全運転学校連絡会議等四十回
 - (五)その他
 - (六)道法車両けん引七十八台、道路調査九千八百五十七件等

高根東小が優勝(四年ぶり)

交通安全子ども自転車県大会

県警察本部と県交通安全協会共催の第28回交通安全子ども自転車山梨県大会は、六月二十二日(日)昭和町の押原小学校で開かれました。

この大会は、小学校児童に対する自転車の安全教育の効果をも高めるため、競技を通じて児童に



自転車大会実技テスト

点から減点方式で、息づまる熱戦をくりひろげました。

この結果、団体では高根町立高根東小学校チームが、上位三選手の内合計三千二百十五点で四年ぶり、通算十九回目の

優勝を果たし、全国大会への出場権を獲得しました。

個人でも、高根東小学校の清水しほ(六年生)選手が、減点僅かに十五点の千八十五点という高得点で優勝、四位までを同校の選手が独占しました。

学科テストでは満点者が五人おり、各校参加選手の健闘が窺われました。

優勝した高根東小学校チームは、八月六、七の両日東京で開かれる全国大会へ県代表として出場します。ご声援をお願いします。

入賞した団体、個人は次のとおりです。

〔団体〕
優勝(知事賞、管区局長・安協連会長賞) 高根東小学校
準優勝(県議会議長賞) 万沢小学校(A)

- 数島南小学校(A) 清水 翔(高根東小)
- 〃 (県教育長賞) 〃 小林里美(高根東小)
- 〃 〃 中嶋山紀(高根東小)
- 〃 (県安協会長賞) 〃 佐野 光(万沢小)
- 〃 〃 旭 小学校 六位 鍋田美枝子(万沢小)、七位 尾崎啓太(曙島南小)、八位 青木秀一(数島南小)、九位 山中美智子(曙小)、十位 佐野康宏(万沢小)
- 優勝(警察本部長・県安協会会長賞) 青木秀一、大田絵理奈、田村優樹(以上数島南小)、清水翔、下條香織(以上高根東小)

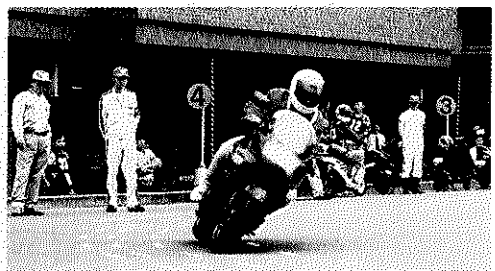
ライダー58人が競う

第27回二輪車安全運転県大会

山梨県交通安全協会・山梨県二輪車安全運転推進委員会主催の第27回二輪車安全運転県大会が、六月八日八田村の運動免許センターで開催されました。

日ごろ二輪車を愛用している16歳から38歳までの五十八人が参加し、昨午を上回る盛況でした。

競技は、一般B(四〇ccを超えるもの)、一般A(四〇cc以下)、高校生(二二・五cc以下)、女性(二二・五cc以下)の四クラスにわかれ、それぞれ法規走行と技能走行



二輪車大会

の二種目で行われました。各クラスの優勝者は、八月二、三の両日、三重県鈴鹿サーキットで行われる全国大会へ本県代表として出場することになっています。

- 入賞者は次のとおりです。
- 優勝(知事賞) 矢嶋 尊
準優勝(県安協会会長賞) 保坂 敏
- 〃 〃 中西 和久
〃 (一般Aクラス) 〃 谷山部哲也
- 優勝(県議会議長賞) 早川 裕人
準優勝(県安協会会長賞) 飯田 匡史、藤巻 実
- 〃 〃 飯田 匡史
四位 村松 由里
五位 竹内 一雪
六位 佐野 佳正
- 〔高校生クラス〕
優勝(県警察本部長賞) 秋山 勇介
準優勝(県安協会会長賞) 井上 正貴、雨宮 勇太
- 〔女性クラス〕
優勝(県安協会会長賞) 前川 実穂
準優勝(県安協会会長賞) 田中さやか、田中あゆみ

高齢者交通安全教室

山梨自動車学校で開催された高齢者交通安全教室で、安全運転を続けて来た高齢者が、「俺はあまりスピードは出さないから大丈夫だ」と豊富な経験にもとづく自信をもちながら、思いがけない事故を起こしてしまうことがあります。また高齢化社会の重要性です。



シートベルトコンビンサーで衝撃を体験(山梨自動車学校)

「若い者には負けないぞ」という元気な気持ちだけではなく、自分自身のドライバーとしての適性を再点検して、それを自覚した安全運転をすることも重要です。

高齢者の交通事故防止に役立つと、県交通安全協会が経営する山梨自動車学校では、四月六日、竜王町の「交通安全シルバリーリーダー」と「長寿会」の皆さん六十名を対象に、体験型、実践型の高齢者交通安全教室を開催しました。

講習会では、走行中の事故防止や安全運転についての講義のほかに、高齢者向けのビデオ「水戸黄門の交通安全」を見た後、さらにシートベルトコンビンサーによる衝突時の衝撃体験、動体視力計を使った適性診断で運転中の視力を再確認するなど、貴重な体験をすることができました。

参加した皆さんからは「シートベルトの大切さがよくわかった」「まさか運転中の視力がこんなだったとは...」などという声も聞かれ好評でした。

自動車学校としては、いろいろな機会をとらえてこのような講習会を開催し、交通事故防止に努めていきたいと考えております。

- ★全車種(大型・普通・自二・けん引・大特・第二種免許)の免許の取得ができます。
- ★早朝・夕方・日曜その他あなたの生活条件に合わせた教習が受けられます。

財団法人 山梨県交通安全協会経営
公認 **山梨自動車学校**
中巨摩郡八田村野牛島1828
(運転免許センター内)
TEL (0552) 85-0752

平成9年

交通安全年間スローガン

(運転者(同乗者を含む)に対するもの)
“モシ・モシ”は 車に乗る前 降りたあと!!

(歩行者・自転車利用者に対するもの)
事故を呼ぶ わき見 飛び出し 二人乗り

(子ども部門)
おいかけた ボールの先に じこがまつ

久しぶりのマイカー通勤で私の目に映ったある朝の光景です。

あらゆる道路から車があふれ出てくるというラッシュアワーの混雑のなかで、停止したちよつと時間を惜しんで、コンバクトを取り出し化粧を始める人、運転しながらパンやおにぎりなどを食べている人、髪を削りながら片手運転をしている人、指先にタバコをはさんで吸いな

シグナル

から運転している若い女性、携帯電話を架けながら運転している人、シートベルトを着けていない運転者も目立ちます。

そうかと思うと、自車の後ろに立つて二人乗りをしながら、渋滞車両の間を縫うように通り過ぎていくルーズソックス姿の女子高校生など、こんな光景が毎朝繰り返されています。

さらに私が仕事を通じて不思議に思うのは、このような運転をしている

思いやりの心で運転

従って車を運転する時には、心にゆとりを持って常に安全運転を心がけ、交通事故のない明るい社会環境を実現することが、車社会に生きる私達一人ひとりの責任でもあります。

日頃から交通ルールとマナーを守り、運転者としての自覚と人に対する思いやりの心で安全運転をするということが、なにより大切なことではないでしょうか。

(県警交通部聴聞官・橋田泰昭)

自動車や原付自転車には必ず任意の自動車保険をつけよう。

損害保険代理店 株式会社 **たいよう共済山梨支店**

甲府市丸の内2丁目32-13
日東ビル4階
TEL0552-28-0691

地区だより

春の全国交通安全運動



大井夫人祭りで交通安全パレード (小笠原)



信玄公祭りで交通安全パレード (甲府)



交通安全運動出発式 (県対協)



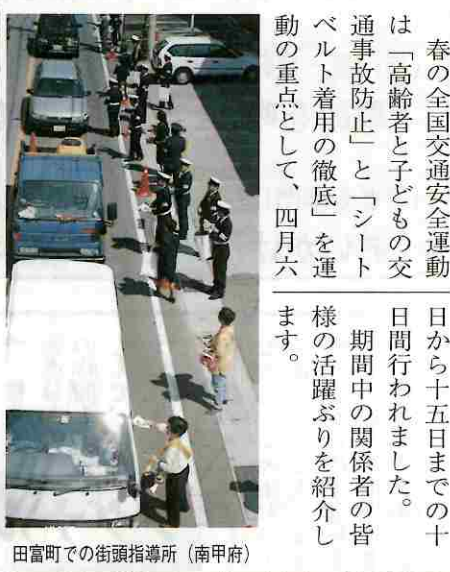
保育園児も交通安全に一役 (鯉沢)



雨の中、長野県と合同で県境街頭指導 (長坂)



真剣に話を聞く保育園児 (荏崎)



春の全国交通安全運動は「高齢者と子どもの交通事故防止」と「シートベルト着用徹底」を運動の重点として、四月六日から十五日までの十日間行われました。期間中の関係者の皆様の活躍ぶりを紹介します。



石和温泉駅頭で黄色い羽根を配布 (石和)



街頭指導所で「交通安全ボード」を活用 (市川)



交通安全シルバーリーダーを委嘱 (南部)



田富町での街頭指導所 (南甲府)



甲州軍団で、交通安全PR (富士吉田)



交通安全教育グレースボール大会を開催 (都留)



交通安全広場開設式 (塩山)

交通安全死亡事故ゼロ500日達成で記念植樹 (日下部)



駐在さんの落語で高齢者交通安全教室 (上野原)



交通安全教室で高齢者の動体視力検査 (大月)

「なぜ！シートベルトか？」

市川安協でビデオテープ作成

市川交通安全協会で、市川警察署と下部コミニケーションテレビのご支援を得て「なぜ！シートベルトか？」という題名のビデオテープ（時間十二分）を作成しました。

シートベルト非着用者の多くが、ハンドルやフロントガラスへの二次的衝突で死亡したり重傷を負ったりしている事実を、時速四〇キロでの停止車両への衝突実験や、高さ九メートルからの車両の落下実験をして、その衝撃力のすさまじさを訴えています。

県下各安協で定期総会

事業計画等を決定

県下の各交通安全協会では、五月中旬から六月下旬にかけて、それぞれ定期総会を開催しました。厳しい交通情勢が続くなかで、真剣な討議が行なわれ、本年度の事業計画等を決定されています。

総会開催一覽表

安協名	月日	場所
甲府府	六月二十日	古名屋ホテル
南甲府	五月三十日	アピオ
小笠原	五月十五日	魚覚
荏崎	五月二十七日	ホテル舟山
長坂	六月十一日	長坂農村環境改善センター
鯉沢	五月三十日	ホテルいち柳
南部	五月十三日	南部町総合会館
市川	五月二十六日	市川警察署会議室
石和	二月、四月	石和観光温泉ホテル
日下部	五月三十日	日下部警察署会議室
塩山	五月十五日	塩山警察署会議室
都留	五月三十日	都留警察署会議室
富士吉田	五月二十三日	富士吉田市民会館
大月	五月二十七日	大月警察署会議室
上野原	六月十一日	上野原警察署会議室

バザールで反射材販売

南部交通安全協会



反射材販売コーナー

南部警察署と南部交通安全協会では、高齢者の交通事故率が県下で最も高いという実情をふまえて、高齢者の事故防止対策の一環として、五月三日南部町商工会主催のナイトバザール会場に、動体視力検査コーナーと反射材展示販売所を開設しました。

ゲートボールで高齢者の安全指導

長坂警察署

長坂警察署では、管内の防犯・交通安全関係団体の協力を得て、本年四月から「高齢者防犯交通指導員」制度を発足させ、四月七日委嘱状の交付式と指導者講習会を開催しました。

指導員には、日ごろ高齢者と接する機会が多いゲートボールの審判員やチームキャプテンのな

「TSMマーク」で自転車の安全と安心を

自転車事故が増えています。正しく点検・整備された自転車に、ルールとマナーを守って乗りましょう。点検整備された自転車の印が「TSMマーク」です。もし事故にあったときは入院舞金などが補償されます。

TSMマークには「第一種(青色)」「第二種(赤色)」の二種類あります。詳細は看板のあるお店でお尋ねください。